

第99回 教育研究発表会(2次案内) - 研究だより 第38号 -



香川大学教育学部 附属坂出小学校

研究主題

学びに熱中する子どもたちの育成

— 学習意欲を育て、他者と協働しながら考え続ける力を育む授業づくり —



日程

平成 29 年

1月 26 日(木)・27 日(金)

平成 28 年度研究主題

学びに熱中する子どもの育成

— 学習意欲を育て、他者と協働しながら考え続ける力を育む授業づくり —



「思考力」および学習意欲に関わる実態把握

【平成 26・27 年度研究主題】 対話を通じた「思考力」の育成 —育てるカウンセリングを生かして、個々の考えを広げ深める授業づくり—

「思考力」育成に向かう対話の成立に向けて、教材や授業構成を工夫して学習集団の中に多様な考えが生まれるように働きかけた。また、育てるカウンセリングを生かして対話の技能を高めたり、対話のできる学級の雰囲気をつくったりする支援によって対話を促進し、「思考力」を育成することができた。その一方で、一部の子どもは自己の考えを広げたり深めたりしようとする意欲が高まらず、主体的に対話することができずに「思考力」が十分に育たないといった改善すべき点が見えてきた。

26日(木) 提案授業 I

国語科
4年

「文章のつながりを考えて読もう
—『ゆめのロボット』を作る—」
片岡 亜貴子

「自分のゆめのロボットを考えてみたい」という思いをもった子どもたちは、企画書作りのためにロボットについて書かれた文章を読み、自分の考えを膨らませていきます。その中で、筆者の願いや考えを知り、活用例等とのつながりを基に、叙述相互の整合性を吟味する力の育成を目指します。

社会科
5年

「日本の食料生産の未来像とは
—ウナギの生産から見えること—」
藤本 博文

自給率の低下等の現状から、日本の食料生産に興味をもった子どもたちは、ウナギを例にその生産について時空間的視野や立場を広げて調べます。そして、得た事実を基に話し合いながら相互に関係づけてその未来像を追究します。その過程で、食料生産の意味を捉え、環境保全の視点を含めた解釈へと再構成します。

算数科
4年

「1より大きい分数の仕組みを調べよう」
白川 章弘

「73/8は、どれくらいの大きさだろう。」と、分数の大きさに興味をもった子どもたちは、図や数直線等に表示して確かめていきます。そして、仮分数や帯分数と整数を比較しながら、さまざまな分数の大きさについて説明し合う過程で、分数の意味や表し方および加減計算の意味について捉える力の育成を目指します。

理科
3年

「見つけて生かそう 磁石の秘密」
濟城 智哉

子どもたちは、磁石を使ったおもちゃづくりに生かそうと、磁石に付く物や磁石の働きについて調べた結果を基に友達と話し合いながら、磁石の性質を見つけたり確かめたりしていきます。その過程で、調べた結果を比較し、その共通点や差異点から磁石の性質を捉える力の育成を目指します。

生活科
2年

「友達と一緒に作って遊ぼう」
中家 啓吾

子どもたちは、おもちゃ祭りを学級、1年生、幼稚園の友達と楽しむために、おもちゃや遊び方、その説明のしかたを考え、準備を進めていきます。その過程で、これまでの遊びの経験や国語科で学んだことを生かすことよさに気づき、おもちゃや遊び方、その説明のしかたをよりよいものに工夫していきます。



音楽科
1年

「音をつないで星空を表そう
—『きらきら星』『夕星のための踊り』—」
溝淵 佳子

音色やリズムの変化による曲想の変化に興味をもち、それらを伝え合いながら、自分たちの思いに合う音楽に構成していく子どもを目指します。その中で、歌詞や曲想から想像した情景と結びつけながら、「一番星だからトライアングルを1回、ターンと鳴らそう。」等と音色やリズムを創意工夫する力を育成します。

体育科
1年

「扉を開けて 出かけよう！
—表現遊び—」
山路 晃代

題材の特徴や様子を捉えてなりきって踊ることに興味をもった子どもたちは、互いの動きのよさを伝え合いながら、自分の動きをよりよくしていきます。その中で、「凧が高く上がる」等の簡単な話を作って即興的に踊り、よりなりきって踊るための動きを試しながら選んだり見いだしたりする力の育成を目指します。

体育科
(保健)
5年

「見つけよう！自分に合った不安や
悩みの対処法」
河村 千種

不安や悩みへの対処法について興味をもった子どもたちは、さまざまな対処法とそのよさを話し合います。その中で、年齢に伴って発達している心の状態と自分の心の状態を照らし合わせながら自己の課題を捉え、それに応じた対処法を選んだり、見いだしたりする力の育成を目指します。

道徳
6年

「広い心で
—『道子さんに出したバス』—」
竹森 大介

よりよい関係を築いていくために、互いの意見や立場を大切にしながら、相手の気持ちを広い心で受け止めることの大切さに気付けるようにします。その際、子どもたちは、登場人物の気持ちを考える中で表出された多様な価値観から、自分が大切であると思うものを選択し、話し合っていきます。



27日(金) 提案授業Ⅱ

国語科
1年

「出来事の順序に気をつけて
お話を書こう」
尼子 智悠

さまざまな昔話を讀んだ子どもたちは、「自分でもお話を作ってみたい」と、昔話のような物語作りに興味をもち、オリジナルの物語を考えていきます。その際、自分が考えている物語について、友達と意見を交わす中で、登場人物が何をするのかを、出来事の順序に沿って構成する力の育成を目指します。



国語科
5年

「心に残った作品を推薦しよう
-『大造じいさんとがん』-」
西吉 亮二

『大造じいさんとがん』を讀み、優れた叙述に興味をもった子どもたちは、「自分が選んだ物語のここも登場人物の…な気持ちを表していそうだ。」と考え、推薦に生かしていきます。その中で、優れた叙述から伝わる登場人物の気持ちについて話し合い、その叙述に対する自分の考えを創造する力の育成を目指します。

社会科
4年

「過疎の島はつながりを求めた
～企業の島からアートの島へ～」
渡部 岳史

多くの観光客が訪れる直島に興味をもち、時空間的視野や立場を広げ、得た事象を相互に関係づけ、アートの島を目指す取り組みの価値を捉えます。その過程で、携わる人々の願いを踏まえ、取り組みについて話し合っその魅力を明らかにし、地域の特色を生かし豊かに生活することの解釈を再構成していきます。

理科
6年

「つくって ためて 変換して
大切に使おう わたしたちの電気」
竹森 大介

「効率的に電気を使うにはどうすればよいか。」等の思いをもち、実験から分かったことを基にして、生活に見られる電気の利用の仕方について、進んで説明する子どもの姿を目指します。その中で、速く蓄電する方法や消費のされ方の違いについて推論しながら、電気の性質や働きを捉えていきます。

図画工作科
2年

「自分が作品！
-わっかでへんしん-」
造田 朋子

自分や友達が変身したいものや変身する過程に興味をもち、どのような飾り付けをすればよいか話し合いながら、楽しく製作していきます。その中で、自分が表したいイメージに合うように、輪に付ける飾りの材料を選んだり、画用紙を切る等して形をつくったりしながら、表現方法を吟味する力の育成を目指します。

家庭科
5年

「にっこり ほっこり
みそ汁を作ろう」
芳我 清加

「家族が喜ぶ〇〇なみそ汁を作りたい」という思いをもった子どもたちは、だし・実・みそをそれぞれ「何にするか」で得られる効果について、友達と調べたり話し合ったりすることで、思い描くみそ汁を具現化していきます。その過程で、自分や家族の願いに合った材料を選択する力の育成を目指します。



体育科
3年

「みんなでアタックチャンスをものにしろ！」
～ゲーム(ネット型ゲーム)～
山本 健太

「より多く得点するために、どのように攻撃をしたらいのだろう。」と攻撃のしかたに興味をもった子どもたちは、過去の試合データ等を基に話し合いながら作戦を立てていきます。そして、役割ごとに、アタックを決めるための攻撃のしかたを試合状況に応じて選んだり、見いだしたりする力の育成を目指します。

道徳
4年

「友達のことを考えて
～『ししゅうのあるセーター』～」
片岡 亜貴子

よりよい人間関係を築いていくためには、相手の立場で気持ちを推し量って考えることが大切だと気付けるようにします。その際、子どもたちは、登場人物に対する複雑な思いを「心情メーター」を用いて表出し、自分の気持ちの変化について、その理由を話し合っていきます。

提案授業Ⅲ 全体授業

算数科
6年

「全部で何通りあるのかな
-場合を順序よく整理して-」
清水 顕人

4枚の数字カードを並べ替えてひき算の式をつくり、何通りできるのか、図や表に表しながら条件に合うものを説明していく子どもたち。そして、その課題を解決したあとは、自ら条件を変えた新たな問題について考え始めます。

このような活動を通して、すべての起こり得る場合を調べようと、組み合わせや並べ方を、図や表を用いて順序よく整理し、条件に従って吟味する力を育成します。



学習指導要領改訂の時期を迎え、8名の講師の先生をお招きしました。
これからの学習指導についてともに考えましょう。

26日(木)

12:15	12:40	13:00	13:15	13:30	14:15	14:25	15:45	15:55	16:55
受付	開会式	全体提案	移動	提案授業Ⅰ	移動	授業討議Ⅰ	移動	分科会講演	

算数科の学習指導について

文部科学省初等中等教育局
教育課程課 教科調査官



笠井健一先生

理科の学習指導について

文部科学省初等中等教育局
教育課程課 教科調査官



鳴川哲也先生

「特別の教科 道徳」の 学習指導について

香川大学教育学部
高度教職実践専攻 教授



七條正典先生

特別支援教育の視点を生かした 学習指導について

香川大学教育学部
特別支援教育領域 教授



坂井 聡先生

27日(金)

8:15	8:40	8:55	9:10	9:55	10:10	11:30	12:30	13:30	13:50	14:00	14:45	15:00	16:20	16:30
受付	全体提案	移動	提案授業Ⅱ	移動	授業討議Ⅱ	昼食	分科会講演	移動	授業説明	全体授業	提案授業Ⅲ	休憩	シンポジウム	閉会式

アクティブ・ラーニングを目指した 学習指導について

東京大学大学院教育学研究科
教授



市川伸一先生

社会科の学習指導について

文部科学省初等中等教育局
視学官



澤井陽介先生

国語科の学習指導について

文部科学省初等中等教育局
教育課程課 教科調査官



水戸部修治先生

「特別の教科 道徳」の 学習指導について

香川大学教育学部
高度教職実践専攻 准教授



植田和也先生

シンポジウム

「学びに熱中する子どもの育成」について、3名の先生方と全体授業をもとに語り合う

《シンポジスト》 市川伸一先生 笠井健一先生 坂井聡先生

清水頭人（全体授業者） 中家啓吾（本校研究副部長）

道徳の時間の取り組み

本年度は、道徳の時間における「思考力」を、「道徳的価値を自覚し、自己の生き方についての考えを深め、さまざまな状況下において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に判断する力」と設定しました。

この「思考力」の育成を目指して、他教科と同じように学習意欲を育てることに焦点を当て、研究を進めています。例えば、写真や図等の視覚的な支援によって経験を想起させ、子ども自身が自分と資料をつなげるようにする等の働きかけを取り入れた授業づくりを行っています。

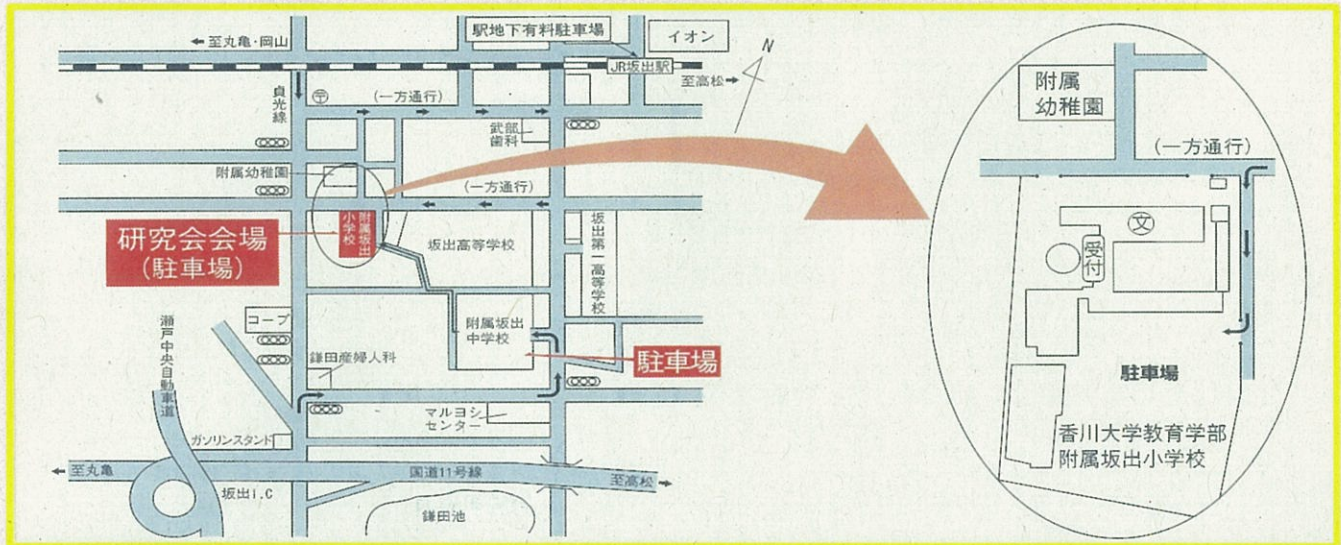


- **参加費** 3,000円（資料代を含む）

※ 学校単位等団体での申し込みは割引がありますので、お問い合わせください。

- **昼食** 2日目のみ弁当販売を行います。代金は800円（税込み・お茶付き）です。当日、9時までに弁当券を受付でお買い求めください。なお、大まかな人数把握のため、購入予定の方は弁当希望欄に記入をお願いします。

- **本校の位置** JR坂出駅下車、南口より徒歩で約10分。
坂出インターチェンジから、北へ車で約5分。



- **駐車場** 附属坂出小学校および中学校(徒歩約5分)の運動場をご利用ください。駐車場が満車となる場合がありますので、公共交通機関をぜひご利用ください。
- **申し込み** 1月20日(金)までに、「参加申し込み書」にご記入の上、FAXでお願いいたします。申し込み用紙は、本校ホームページからもダウンロードできますので、ご利用ください。

お願いとお知らせ

- ※ 当日、受付にて来校者名札をお配りします。児童の安全管理のため、着用をお願いいたします。
- ※ 個人情報保護の観点から個人が特定できる写真、VTRの撮影はご遠慮ください。
- ※ 悪天候やインフルエンザの流行等で予定を変更することがあります。そのような場合には、ホームページで随時お知らせいたします。
- ※ 研究会開催中に災害が発生した場合は、本校職員の指示・誘導の下、速やかに避難してください。



坂出市公認キャラクター
さかいでまろ

【お問い合わせ】

香川大学教育学部附属坂出小学校研究部
〒762-0031 香川県坂出市文京町二丁目4番2号
TEL (0877)46-2692 ・ FAX (0877)46-5218
E-mail sakashokenkyu@ed.kagawa-u.ac.jp
URL <http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~sakasho/>